

曾我浦片隧道（4号、5号）が土木遺産に認定されました

国道135号熱海市にある曾我浦片隧道(4号、5号)が土木学会選奨の土木遺産に平成20年11月22日認定されました。

静岡県内では曾我浦片隧道のほか、平成15年度に大井川橋(島田市)、平成17年度に安倍川橋(静岡市)、平成22年度に清水灯台(静岡市)、平成25年度に鹿島橋(浜松市)が同土木遺産に認定されています。

曾我浦片隧道(4号、5号)は、国道135号に昭和14年に建設された片隧道です。4号は延長50.0m、5号は延長33.5mあります。4号は古典的なアールデコの坑口、5号は古典主義的な発想の坑口です。戦前の代表的なもので、洞門としては珍しい意匠です。建設から70年ほど経過し、海と山の良好な景観に溶け込みながら、今なお落石崩壊等の災害から国道を守り続けています。これからも、定期的に点検・補修を施し、長寿命化に努めていきます。

※アールデコとは1920年代のフランスを中心に流行した装飾的美術様式。

